

村上市乾杯条例

世代を超えて
みんなで楽しく
村上の飲みもので



乾杯!

— 鮭・酒・人情のまち 村上市乾杯条例スタート —

あらかわ保育園児年長組の元気な乾杯



今年の3月17日、村上市議会として初の政策条例「村上市地酒等による乾杯を推進し村上の食文化を振興する条例」通称「鮭・酒・人情のまち 村上市乾杯条例」が制定され、4月1日からスタートしました。

この条例は、地酒などによる乾杯の習慣を広めることで、村上の食文化を盛り上げ、市の地域経済の発展に貢献していくことを目的としています。

今回の特集では、この乾杯条例を紹介します。



市内飲食店にて



かたるんカフェにて

山北地区の山ぶどうジュース



村上南小学校おやじの会の皆さん





神林子育て支援センターに遊びに来ていた皆さん

村上支部老人クラブ連合会女性委員会の役員の皆さん



新潟看護医療専門学校村上校の学生の皆さん



新潟リハビリテーション大学の学生の皆さん



おしゃべりカフェに来ていた皆さん

北限のお茶「村上茶」



「乾杯なんて、どうせ、大人しか飲めない日本酒のことしか考えていないんでしょ」なんて思っていないですか。

この条例は、日本酒だけの乾杯を推進するものではありません。

日本酒やどぶろくなどのアルコール飲料のほか、お茶や山ぶどうジュースなどのノンアルコール飲料も含め、市内で製造されている飲み物で乾杯しましょうというものです。

子どもたちやアルコールの苦手な人たちも、ちゃんと仲間に入れて、みんなで楽しく乾杯をしていきましょう。

猿沢地域まちづくり協議会懇親会



飲み物だけじゃない

乾杯の次は、やっぱり食べ物。市内には、たくさん魅力ある食材がそろっていて、その食材を生かした料理は、まさに絶品です。乾杯をきっかけに、どんどん地元のおいしいものを食べて、紹介していくことで、市内の農林水産物や物産などの生産や加工、販売などが促進されていくことが期待できます。

提供する人も、飲食する人も「村上の食文化」に誇りと自信を持ち、発展させていくことにつながるという思いがある。



こんな感じで浸透させていこう 乾杯条例

新しい飲み物ができるかも？

事例①



某集落で子どもたちと一緒に道路のゴミ拾いをした時のことです。せっかく一緒に作業してひと汗かいたから、みんなで乾杯のまねごとでもしようかということになり、山ぶどうジュースや村上茶などで乾杯しました。

子どもたちから「地元にはおいしい飲み物があるんだねえ」「いろいろ混ぜて飲んでみようよ」「新商品の出来上がりだ」「まだまだ、何か地元のもので飲み物ができそうだね」などなどの声。

参加した大人たちは、子どもたちが地元のジュースやお茶のおいしさを再認識してくれたことや、いろいろな飲み物を自分たちでも作ることができるかも知れないと発想をしてくれたことが、うれしかったとのことです。

この乾杯条例がきっかけとなって、新しい村上の飲み物が開発されるかもしれません。子どもたちの実行力に期待をせずにはいられない出来事でした。

おいしい料理で腹いっぱい

事例②

市内の某小学校PTAで行われた4月の歓送迎会でのことです。最初の乾杯は、地酒などではありませんでした（乾杯条例が施行され間もないため、浸透していませんでした）。楽しく飲食していたものの、話が弾み、なかなか料理に手をつけない人もいました。宴も終盤になり、かなりの量の料理が残っていました。

そこで、締めの前に「そういえば、食品ロスを減らすことも書かれた乾杯条例ができたらいいから、自分の席に戻って、残っている料理を食べましょう」という声が上がりました。すると、これまで遠慮して箸を伸ばさなっていた人たちが、そういうことなら仕方がないよねとばかりに、最後に、おいしく料理を食べることができたのです。参加者からは「おいしいものをたくさん食べることができて、話も弾み楽しかったなあ」との声も聞かれました。

この乾杯条例の取り組みが、人々の絆を深める効果があることを気づかせてくれた出来事でした。



皆さんの好みに合わせて

もちろん、お酒を飲むか飲まないか、何を飲むかは個人の自由です。個人の好みや意思が尊重されることは当然ですので、飲酒の強要はいけません。個人の好みに合わせて、仲良く乾杯をしましょう。

残さず食べまじゅう

せっかくの魅力ある食材を生かした料理も、残してしまうと最後はごみとなってしまいます。食べられるのに捨てられてしまう食品「食品ロス」は、日本で年間約632万トン。これはジャンボジェット機2万機分に匹敵する重さです。食品ロスを減らすことは、食べ残しの片付けやごみの処理費用の削減につながります。資源を大切にし、生産者や提供者への感謝の心、ひいては自然を敬い、地域を大切にすると心の成長につながります。

小分けでの料理の提供や適量の注文、宴会の場での食べ残しを減らす呼びかけなどを行うことで、食品ロスを減らしていきましょう。

「メ張鶴」は、お酒だけでなく料理とともに楽しんでいただける酒質が特徴です。村上市にはおいしい農林水産物が多くあります。この村上市が誇る食材とともに、「メ張鶴」をお楽しみいただきたいと思います。



宮尾酒造(株) 代表取締役
宮尾 佳明 さん

「紫雲 大洋盛」は、地域還元商品として地元の村上市および関川村の酒販店様のみで販売している限定酒です。スッキリとした味わいで冷酒から燗酒まで幅広く楽しめます。



大洋酒造(株) 代表取締役社長
村山 智 さん

高根集落の「山のおいしさ学校IRORI(旧高根小学校)」で製造されるどぶろく「雲上」は、白は爽やかな辛口、赤は甘味と酸味があります。特に赤は女性に人気です。ぜひ、ご賞味ください。



高根フロンティアクラブ
会長 鈴木 信之 さん

北限のお茶「村上茶」は、まるやかなうま味、やわらかな渋みが持ち味です。雪国の気候風土に育まれた村上のお茶でほっとひと息してみませんか。



(株)九重園 代表取締役社長
瀧波 匡子 さん

みんな元気に笑顔になろう

この乾杯条例の目指すところは、三方よしの精神である「売り手よし、買い手よし、世間よし」で、すべての皆さんが、元気にそして笑顔になることです。

この条例をきっかけに多くの人に、地元の飲み物や食べ物のおいしさを再認識してもらい、訪れた人たちにも、村上市でやっぱりいいところだなあと感じてもらうれば幸いです。

できるところから始めまじゅう

制定しても実践をしていかなければ意味がありません。乾杯するときだけでなく、食事をするときや料理を作るときなどに、「地元のもの」と意識するだけでもいいのです。そのことで、どんどん市民の皆さんに浸透していけば地域経済の発展に繋がっていくことでしょう。

今日もどこかで、地元の飲み物での乾杯の発声が聞こえそうです。

村上市ますますの発展を願って「乾杯」!

●問い合わせ

議会事務局

☎ 53・2111 (内線411)